

令和元年度 佐賀県立神埼清明高等学校 学校評価計画

<p>1 学校教育目標</p> <p>目指す生徒像 「より良き人生を送るために、学び、考え、挑戦する生徒」 「より良き社会を創るために、自他を尊重し、協働する生徒」</p>	<p>2 本年度の重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が主体的に学び、考える授業を目指す。 ② 生徒が自分の夢や目標に向けて挑戦するキャリア教育に取り組む。 ③ 社会人として必要なマナー、モラルを育成する。 ④ 豊かな心を育む教育の充実を図る。 ⑤ 部活動など課外活動の活性化に取り組む。 ⑥ 地域に信頼される学校づくりを推進する。 ⑦ 学校における働き方改革を推進する。
---	--

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

① 生徒が主体的に学び、考える授業を目指す。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	授業の充実、改善	・生徒が「学び」「考え」「挑戦する」授業を目指して、生徒の授業満足度を80%以上にする。	・各学期に2回の公開授業週間を設定し、職員が他教科の指導法を学び、考える機会とする。 ・各教科、年1回以上の研究授業を実施し、授業改善を促進する。
		授業における効果的なICT利活用	・ICTを使った研究授業を100パーセントとする。	・各教科で実施する研究授業では、ICT機器を活用し、効果的な活用法について職員間の情報共有を図る。 ・学習用PCのアプリケーションの効果的な活用法について、校内で研修会を実施する。
		「学びの基礎診断」活用	・「学びの基礎診断」を活用し、基礎学力定着に向けたPDCAサイクルを確立する。	・測定ツールを活用しながら生徒の学習状況を多面的に評価し、指導の工夫・充実を図る。

② 生徒が自分の夢や目標の実現に向けて挑戦するキャリア教育に取り組む。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●志を高める教育	『産業社会と人間』における職業観の育成による適切な系列選択	・「系列選択」の満足度を90%以上とする。	・1年次は、「系列」の説明や体験授業を早期に実施し、並行して「職業」に関する進路ガイダンスや進路見学会等を実施することにより、「系列選択」のミスマッチを防ぐ。
		『ライフネットワーク(総合的な学習の時間)』における系列の特色を生かしたプログラムの実施	・「系列選択」の満足度を80%以上とする。	・2年次は、系列の特色を生かした地域交流、外部機関等と連携したプログラムを実施する。 ・3年次は、系列の学びの集大成としての課題研究を実施する。
	○進路指導	進路希望の実現	・第一志望の大学・短大・専門学校への合格100%とする。 ・就職内定率100%を目指す。	・進路検討会を充実させ、個々の生徒に適性に応じた的確な進路指導を行う。 ・進路に関する面接指導(相談)を充実させる。

③ 社会人として必要なマナー、モラルを育成する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒指導	・基本的生活習慣の確立 ・交通安全の意識向上 ・情報モラル教育の充実	・時間やルールを守り、周囲に迷惑をかける生活を送る。 ・自転車の交通ルールの遵守を徹底させる ・ネットトラブルに巻き込まれない生徒を育成する。	・定期的な服装指導を実施し、継続した指導を行う。その他、小さなことでも気づいたその場で指導する。 ・交通講話、登下校指導、自転車点検等を行い、交通事故防止、マナー向上に努める。 ・集会等で、ネットトラブルの事例を紹介し、巻き込まれないためのネット利用について説明する。

④ 豊かな心を育む教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	「がん教育」の推進	・「がん教育」を通して、生徒、職員の「がん」に関する理解を深め、命を大切にする態度を育成する。	・職員向け、生徒向けの講話を実施するとともに、「生活福祉系列」の生徒を対象とした研究授業を実施する。
教育活動	●いじめ問題への対応	いじめの早期発見と組織的な対応	・生徒の様子を常に観察し、小さな兆候も見逃さない。	・いじめアンケートを年2回以上実施し、状況把握に努める。 ・学年、系列の縦・横の情報共有を密にし、教育相談との連携を図る。

⑤ 部活動など課外活動の活性化に取り組む。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○課外活動	部活動の活性化	・部活動入部率を80%以上を維持する。	・未加入者に対しては、加入促進の指導を継続する。 ・部活動を含めた課外活動の在り方について検討する。

⑥ 地域に信頼される学校づくりを目指す。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○情報発信	ホームページの充実	・ホームページの更新回数とアクセス件数を昨年度以上とする。	・学校行事、系列の特色ある授業、体験学習、部活動の試合結果等を実施後すぐにホームページに掲載する。
学校運営	○地域連携	高大連携の推進	・地元の西九州大学と連携した授業、行事等を実践する。	・大学と高校の職員によるミーティングを実施、どのような連携ができるか検討する。

⑦ 学校における働き方改革を推進する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	校務等の効率化の推進	・時間外の自発的勤務時間の月別平均時間が前年度を下回る。	・部活動は、週1日の休養日(平日)と月2日の休養日(土日祝日)を目標とする。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	望ましい食習慣と健康に関する自己管理能力の育成	・朝食摂取率90%以上を目指す。 ・保健室利用生徒数が前年度を下回る。	・「保健だより」等で、食生活の大切さを喚起する。 ・健康診断後の受診率を向上させるため、受信勧告書を早めに渡し、受診を促す。 ・保健委員が中心となり教室の換気を行い、感染症を予防する。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目